

令和 7 年 8 月 2 0 日



熊谷市の公民連携まちづくり

まちなかのコミュニティの資産（公有・民有）を
民間の提案等を活かし、地域の魅力につなげるために

熊谷市の公民連携まちづくりの取組み

（「～実践方針」（令和6年3月公表）に基づく民間活力の発揮を目指して）

公民連携まちづくりに向けて市役所の政策企画方針（コンセプト）として重視する点

以下の点を重視しつつ、市役所の所管するインフラの管理、市民サービス等の面から、民間が活力を発揮できるように努めます。

- ① コミュニティ
- ② 持続性
- ③ （まち、ひとの）ストーリー

（注）左記の政策企画方針（コンセプト）は「熊谷スマートシティ トータルブランディング方針」と連動。

熊谷市の公民連携まちづくりの取組み

（「～実践方針」（令和6年3月公表）に基づく民間活力の発揮を目指して）

民の活躍が求められる背景
～なぜ今、公民連携か？～①

- [illegible]

熊谷市の公民連携まちづくりの取組み

（「～実践方針」（令和6年3月公表）に基づく民間活力の発揮を目指して）

民の活躍が求められる背景 ～なぜ今、公民連携か？～②

- 公民連携の取組の対象として、熊谷市ではまちなかの再生に取り組みます。
- まちなかは熊谷市の特色である様々な交通手段は接続する結節点であり、熊谷市全体を維持する上で重要なエリアと考えられます。
- また、各種のアセットがまだ残っており、地域の企業や人材に活躍の場を提供することにより、雇用や新たな事業が生まれ、“地域内でおカネがまわる”仕組みを構築できる可能性があります。
- また、公共的精神を持った民間団体等と連携し、公共のアセットを活用することにより、民間のノウハウを活かし、質の高いサービスあるいはウェルビーイング的な自己実現等につながる環境を市民に提供できる可能性があります。

変化に強い「企画」と「実行」ループの考え方

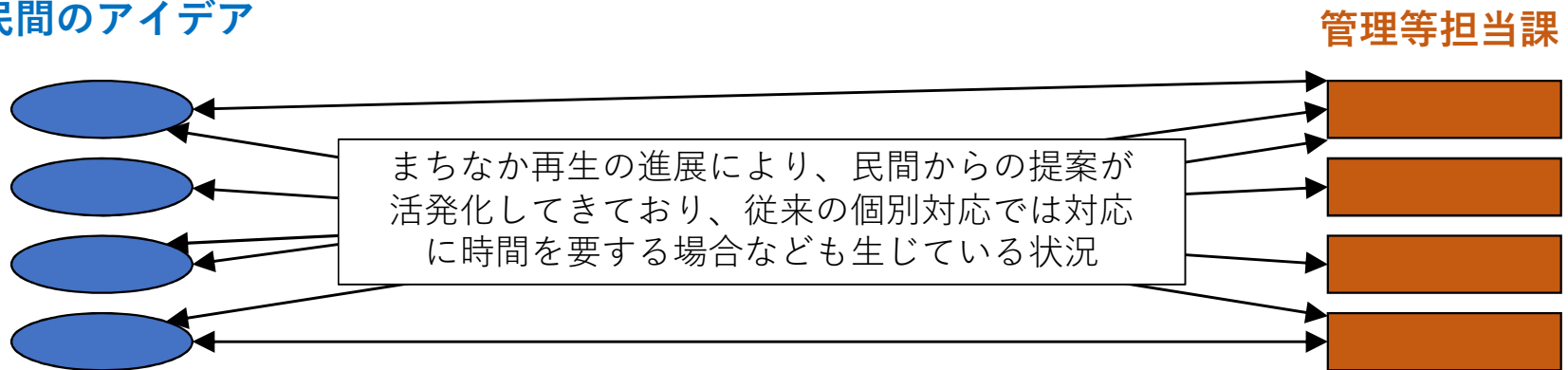
「PDCAサイクル」がPlan（計画）に基づいて1周することを前提とした考え方であるのに対し、下図の「**OODAループ**」は、必要に応じて途中で前の段階に戻ってループから再開できるなど自由度が高く**変化に対応しやすい**一方で、その**特性を生かすためには変化をとらえるための観察・分析などを常に怠らない姿勢が必要**とされる考え方です。

「星川将来ビジョン」の編集にあたり、対面に加えてデジタル手法を活用したコミュニケーションを促進し、またデータをまちづくりに活かして、社会の変化に応じたまちづくりを実践していく上では、OODAループの考え方が適するとの判断により、以下のとおり掲載したものです。

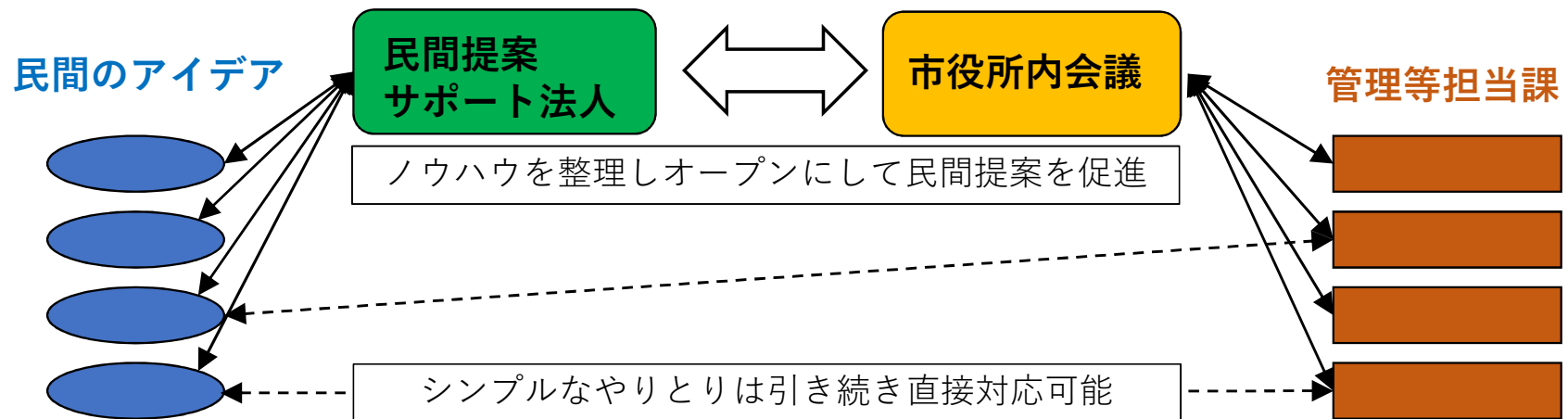


まちなかの資産（アセット）の運用の考え方（R8年度本格実施を想定）

【従来】 民間のアイデア



【今後】



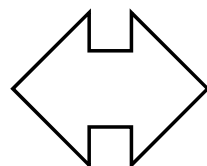
民間提案サポート法人として、当面は （一般社団法人） まちなかコミュニティアセットマネジメント を想定。

民間提案サポート法人と市役所内会議の役割・取組み

まちなかの、コミュニティアセットとして用いることが可能な施設（公有・民有）について、地域の魅力に資する運用を促進すべく、公民連携により取り組んでいく。

【民間提案サポート法人（一般社団法人「まちなかコミュニティアセットマネジメント」等）】

- 1 アセットを活用して持続的なまちづくり体制を作ること
- 2 アセットの管理・運営を行う体制を作ること
- 3 まちなかのまちづくりの情報発信や参画したい市民の窓口となること
- 4 行政と連携しつつ、まちなかの取組を主体的に行っていくこと将来ビジョンなどの方向性づくりやアップデートを行うこと
- 5 市のまちづくり計画について助言・提言を行うこと



【市役所内検討組織】（市役所内会議体「まちなかアセットマネジメント会議」）

- 1 企画課（公共交通を所管）
- 2 北部拠点整備推進室（北部地域振興交流拠点を所管）
- 3 商業観光課（まちなか再生やタウンマネジメントを所管）
- 4 都市計画課（まちづくり全般、まちなかウォークブル推進事業の窓口であり、都市再生推進法人を所管）
- 5 公園緑地課（星溪園や中央公園の樹木管理等を所管）
- 6 管理課（道路管理者・占用許可を所管）
- 7 道路課（道路改良等を所管）
- 8 維持課（道路等の改修等を所管）
- 9 江南文化財センター（星溪園管理運営を所管）

(事例1) お祭り広場の西側「公園的な魅力」を形成し、地域の魅力を向上

＜令和7年度秋 まちなかで実施される社会実験（星川将来ビジョンに基づく内容）＞

1 星溪園魅力向上社会実験

9月6日（土）～10月26日（日）

名称 「星溪園ガーデンカフェ」

目標

星川通からの水と緑の連なる歩きやすい空間形成の目的地として、星溪園をくつろぎや公園的な楽しみの場として一層充実させることの実証実験を行う。

星川将来ビジョン：2 時を過ごせる
4 涼を楽しめる

2 星川通沿線グリーンスローモビリティ走行社会実験

9月27日（土）～10月26日（日）

目標

交通まちづくりの視点を踏まえ、公共交通を補完・連携するまちなか交通として新たなモビリティ導入の可能性を探る。

星川将来ビジョン；5 誰でも訪れやすい

公民連携のまちづくりを支える熊谷流の仕組みを構築し、星川・星溪園へ適用

【民間】

一社）まちなかコミュニティ
アセットマネジメント
⇒都市再生推進法人へ



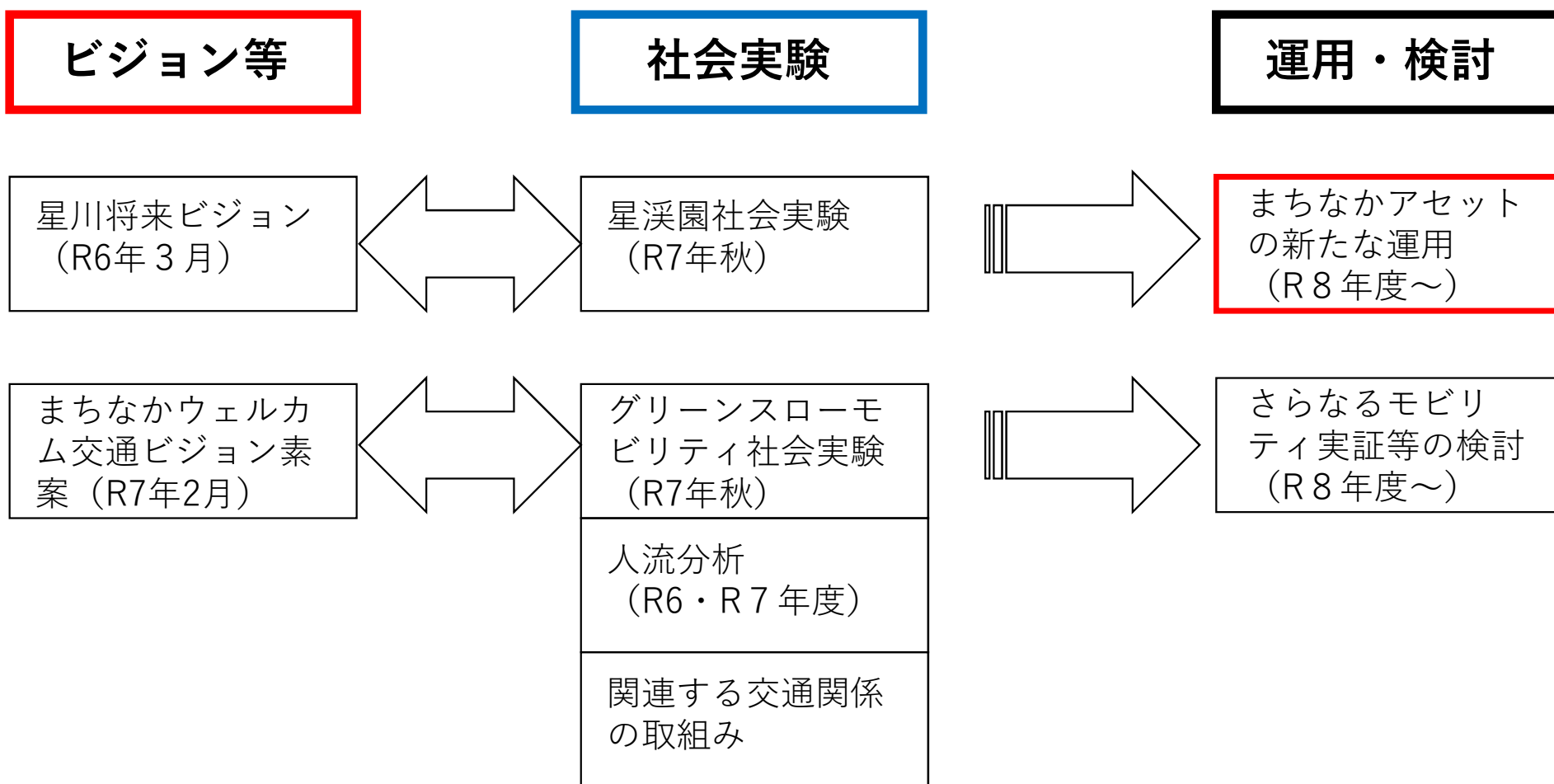
【市】

まちなかアセットマネジメント会議
（部を超えた関係部署の連携）

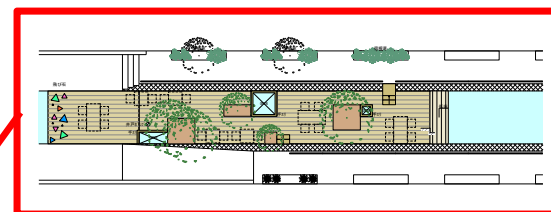
星溪園の活用により「地域の魅力作り」を目指す

(事例2) ビジョン・社会実験から、まちなかの資産（アセット）の運用へ

（公共・民間のまちなかの資産（アセット）の有効活用に向けた取組みの流れ）



(事例 3) まちなかにおける公民連携・暫定利用の実践 (順次拡大予定)



星川上流川床
(市民参加プラットフォーム「ツノルバ」で名称募集中)

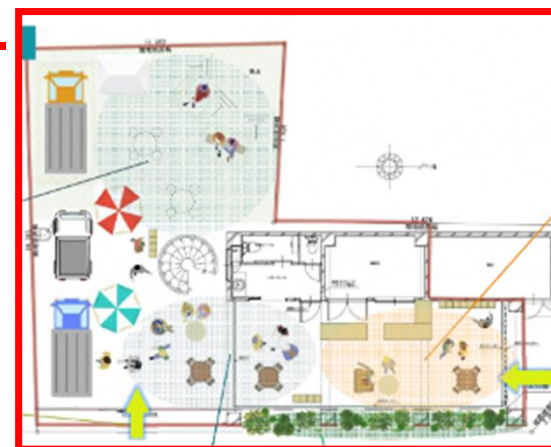


星川広場親水空間



星川周辺の動き

- ・ 公有財産
- ・ NEXT商店街事業
- ・ 熊谷市空き店舗等活用支援事業費補助金
- ・ 官民連携まちなか再生推進事業
- ・ 熊谷・街・妄想ワークショップ



(筑波二丁目市有施設)

グランドフロア滞在交流拠点
「I TO MA」
+
(仮称) 「ロボくまロフト」

（事例4）民間提案・部局横断によるコミュニティの資産の有効活用イメージ

まちなかウェルカム交通ビジョンを策定中

グリーンスローモビリティ(グリスロ)社会実験
(R7年秋予定)



カート型及びバス型のイメージ
クロスシンボルロード
シンポジウム (R7年夏
開催予定)

地域の公民連携の取組
に関する公共物広告の
特例 (市条例)



R6年12月
～R7年3月
星川イルミ
ネーション



広告料が経費に
充当される広告
の許可



車止め兼用
ベンチの試
験的設置



熊谷駅北口公共
交通案内充実
(R7年秋予定)



民間ビル内に公共トイレ・授乳室
を整備
ビルオープン時 (9～21時) に
利用可能)



星川広場の大型ベンチ、ス
テージ等の滞在交流空間



滞在交流拠点「ITO MA」
(R7年9月プレオープン予定)



（事例5）民間提案・部局横断によるコミュニティの資産の有効活用

（準備中）鎌倉町・熊谷寺前バス停周遊マップ

星溪園市民活用企画

市民アンケートの結果を踏まえ、休憩・喫茶・映えスポット等の社会実験をR7年秋に実施予定。

星溪園石碑案内作成



星溪園東門周辺活用（R6年5～6月「みずべdeごはん」企画）



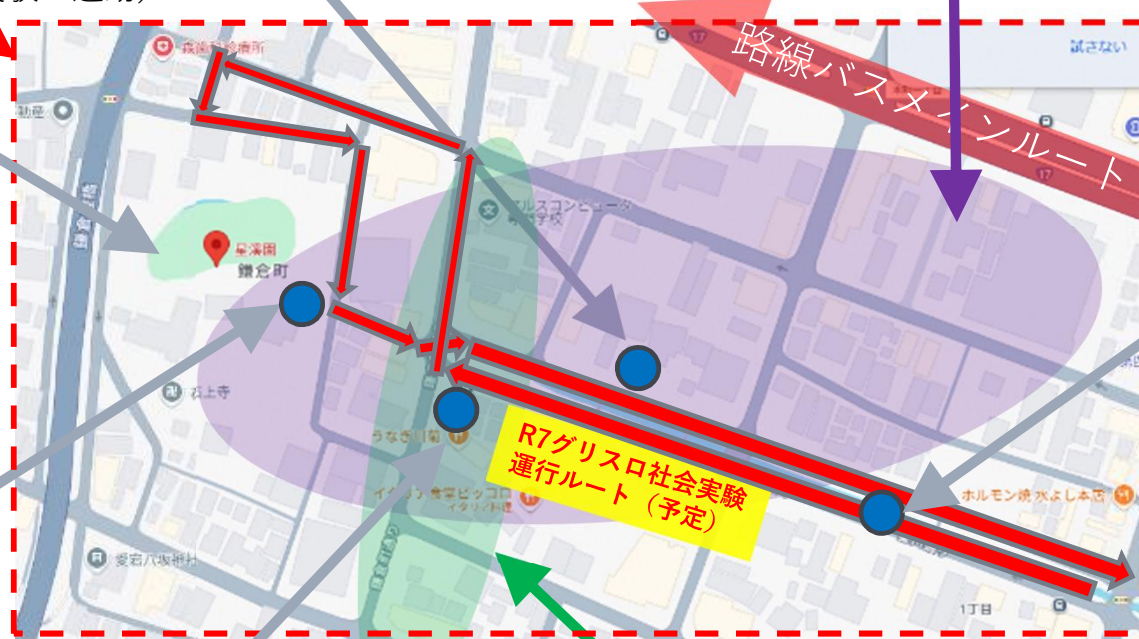
・訪問者や近隣住民の休憩、昼食等に利用可能な休憩スペース設置の実験。

（R7公共交通利用促進キャンペーン・R7グリスロ社会実験と連動）

まちなか交流広場の活用

・R7年度以降、スマートキーボックスによりさらにまちに開き有効活用する予定。

市営本町駐車場の1時間無料設定（R7年度～月2回無料等）によりチョイ散歩の増加



大里用水解説看板更新

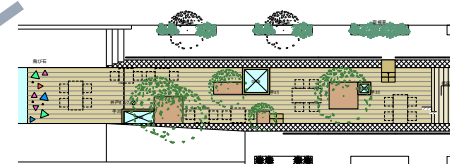


鎌倉町通りWSの竹あかり



熊谷版Decidim「ツノルバ」で活用アイデアを募集。

上流の滞在交流空間（川床）の活用



彫像の案内発信の更新



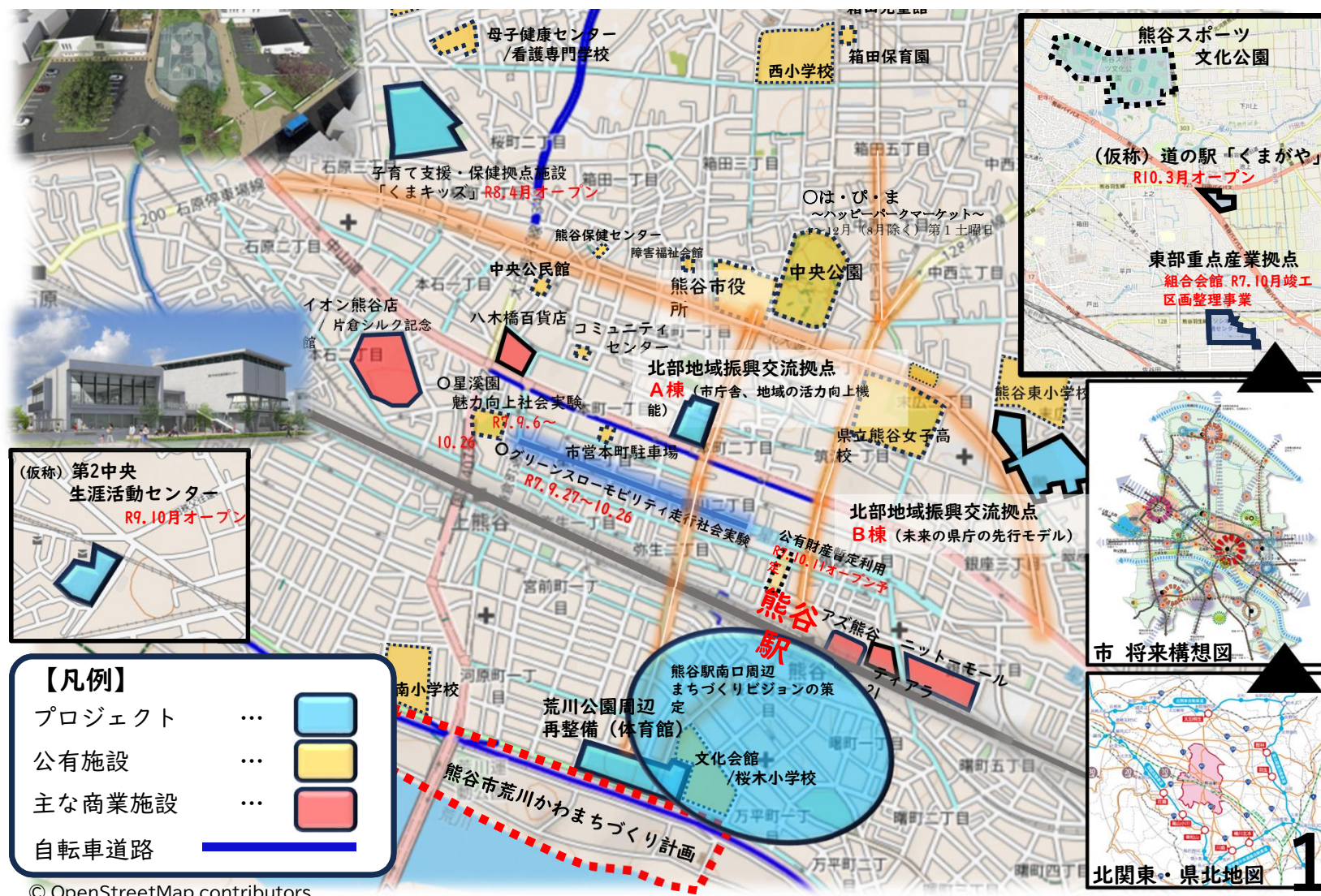
彫像プロムナードWebサイト

前記の事例等の「民間提案によるコミュニティ資産の活用拡大」と併せて目指す 「公・民のプロジェクト連携の促進」による総合的なまちづくり

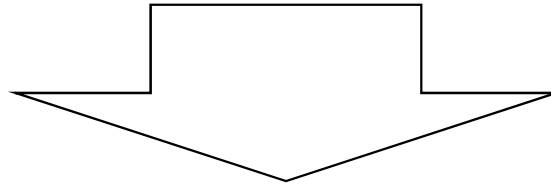
【街なかのプロジェクト一覧】

(一社)熊谷コミュニティアセットマネジメント作成 (8月20日版)

協力：(株)まちづくり熊谷・熊谷市役所



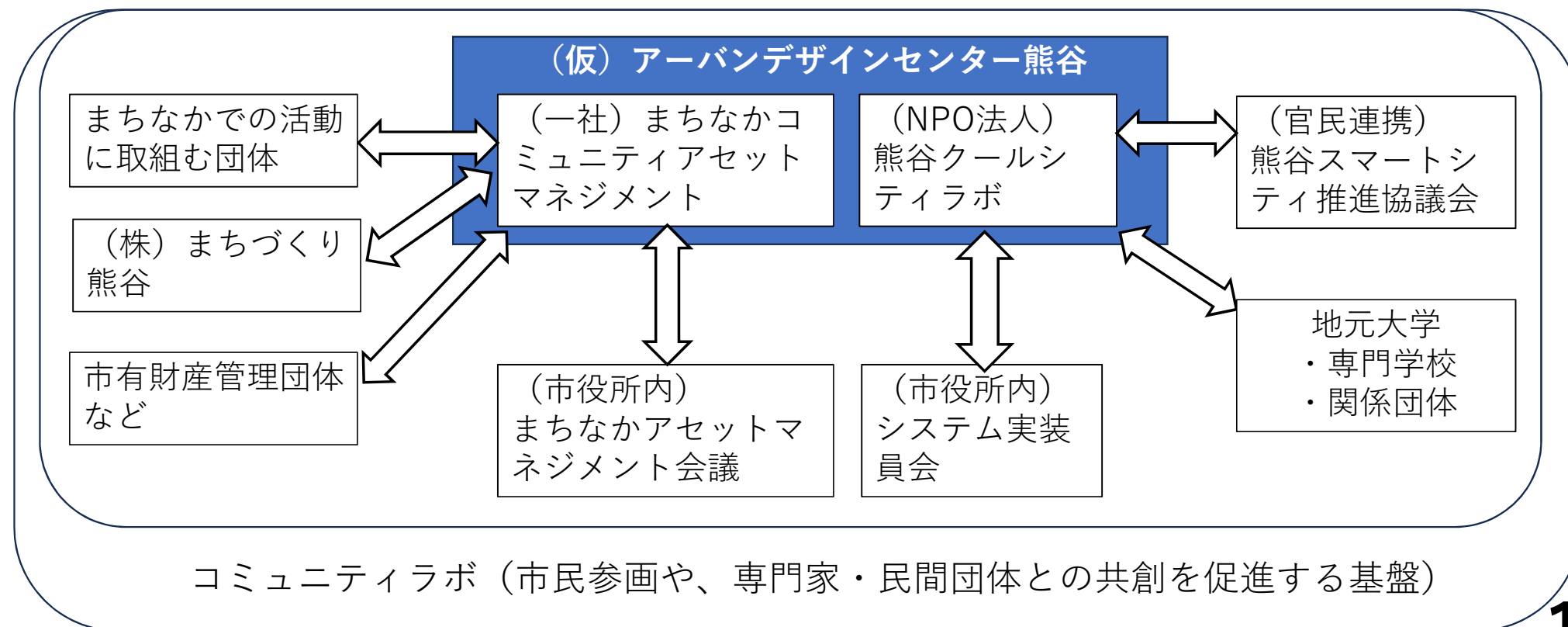
熊谷のまちの持続性を高めるためには分野を横断した総合的な取り組みが必要



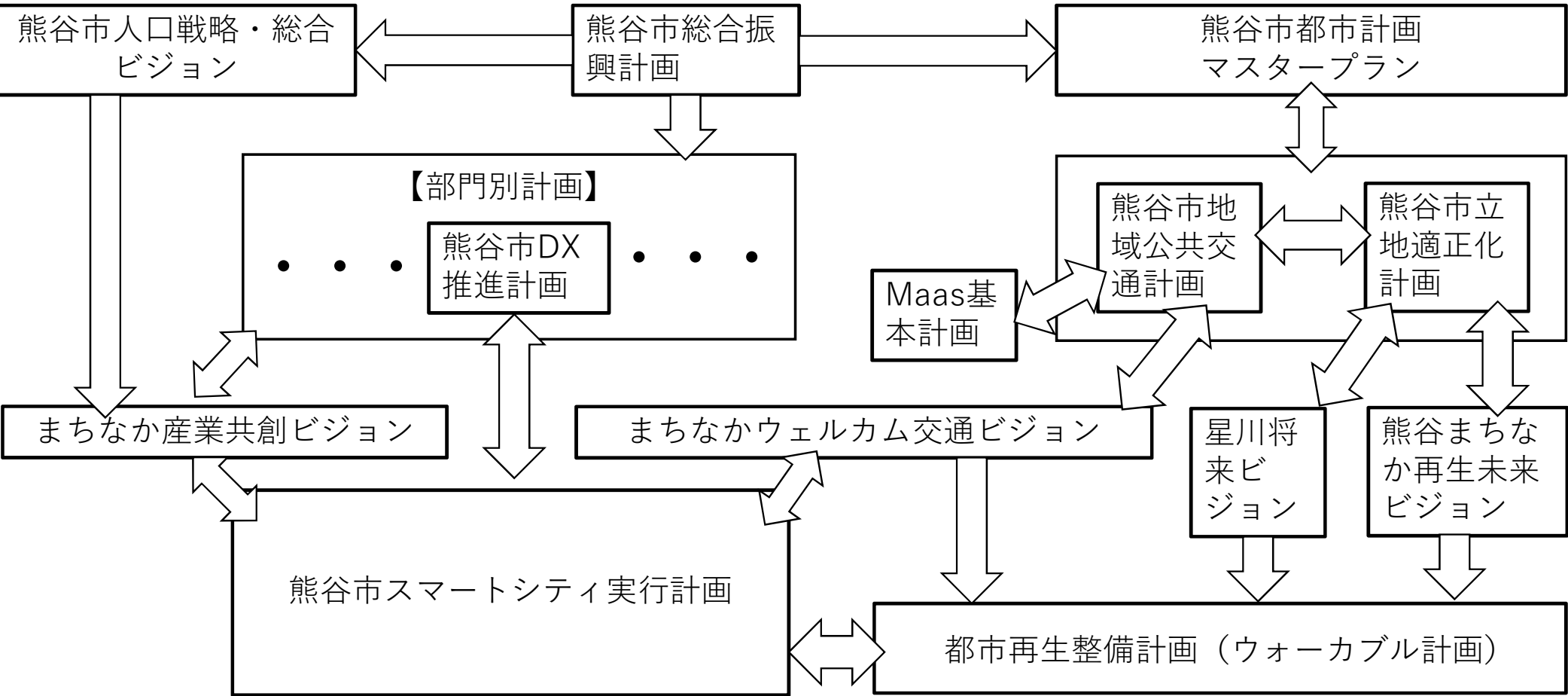
公民連携まちづくりの考え方の下、まちなか再生と、スマートシティ・産業まちづくり・交通まちづくり等を一体的に進めていく予定。

（検討中） 公民連携まちづくりとスマートシティの一層の連携（案）

公民連携まちづくり、スマートシティの取組み・必要性から立ち上がってきた2つの組織が連携する枠組みとしてアーバンデザインセンターの制度を活用することを検討予定。（2つの団体が緩やかな連携協定を結んだ任意団体として、他都市のアーバンデザインセンターとの情報交換等を可能とすることを想定。）



まちなかにおける産業・交通・まちづくりの連動（R7年度中の想定）



- スマートシティスキルカタログ
- 熊谷SCトータルブランディング方針
- Web共創・情報発信等実践方針
- 3D都市モデルまちづくり副読本
- 熊谷市公民連携まちづくり実践方針

ご清聴ありがとうございました！

①公民連携まちづくりWebサイト



②熊谷コミュニティラボ（Slack）入会



③市民参加プラットフォーム「ツノルバ」 （熊谷版Decidim）



④熊谷スマートシティWebサイト

